

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月10日

上場取引所 大

上場会社名 パシフィックシステム株式会社
 コード番号 3847 URL <http://www.pacific-systems.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久保 永史

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総合企画部長 (氏名) 小林 和重

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 048-845-2200

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	5,005	△14.2	△86	—	△79	—	△58	—
23年3月期第3四半期	5,832	4.0	83	△40.9	97	△29.9	16	△77.0

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △54百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 15百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	△39.82	—
23年3月期第3四半期	11.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	5,571	2,676	48.0
23年3月期	5,338	2,797	52.4

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 2,676百万円 23年3月期 2,797百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	45.00	45.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,813	△0.7	210	△15.0	214	△16.9	97	222.5	65.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料P. 4「サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	1,480,000 株	23年3月期	1,480,000 株
24年3月期3Q	192 株	23年3月期	114 株
24年3月期3Q	1,479,840 株	23年3月期3Q	1,479,886 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「経営成績に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後、復興に向けて緩やかな回復傾向にあります。円高の進行や欧州債務危機を発端とする世界経済の景気減速懸念など、引き続き先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する情報サービス業界におきましては、一部で回復基調が見られるものの情報化投資の抑制傾向が継続しており、依然として厳しい状況のまま推移しております。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の売上高は、円高の影響で海外向けの画像処理システム案件に中止や延期が発生したこと、生コンクリート業界向け情報システムや農業生産管理システムが低迷したことにより売上高は5,005百万円（前年同期比14.2%減）となりました。利益につきましては、売上高減少に加え大型プロジェクト案件の原価上昇が発生したこと等により営業損失86百万円（前年同期比170百万円減）、経常損失は79百万円（同176百万円減）、四半期純損失58百万円（同75百万円減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりです。

①機器等販売

パッケージソフトウェアの売上増などがあり売上高は1,182百万円（前年同期比6.1%増）となりました。セグメント利益は91百万円（同36.4%減）となりました。

②ソフトウェア開発

開発案件の低迷により売上高は633百万円（前年同期比38.0%減）となりました。セグメント利益は大型プロジェクト案件の原価上昇があり4百万円（同95.3%減）となりました。

③システム販売

画像処理システム案件に中止や延期が発生したこと、生コンクリート業界向け情報システムや農業生産管理システムが低迷していることにより売上高は1,162百万円（前年同期比30.1%減）となりました。売上高減少の影響によりセグメント損失は47百万円（同179百万円減）となりました。

④システム運用・管理等

前年同期並みに推移し売上高は2,027百万円（前年同期比0.3%減）となりました。セグメント利益は472百万円（同5.2%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて2.6%増加し、3,021百万円となりました。これは、主に受取手形及び売掛金が295百万円、現金及び預金が183百万円減少したものの、仕掛品が629百万円増加したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて6.6%増加し、2,549百万円となりました。これは、主に有形固定資産のその他に含まれているリース資産が58百万円、機械及び装置が49百万円それぞれ増加したことによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて4.4%増加し、5,571百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて20.9%増加し、1,750百万円となりました。これは、主に賞与引当金が102百万円減少したものの、その他流動負債に含まれる前受金が166百万円、短期借入金が100百万円それぞれ増加したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて4.7%増加し、1,144百万円となりました。これは、主に長期借入金が96百万円増加したことによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて13.9%増加し、2,894百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて4.3%減少し、2,676百万円となりました。これは、主に株主配当金の支払が66百万円、四半期純損失による利益剰余金の減少58百万円があったことによります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、平成23年5月13日に公表いたしました通期の数値を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	658,395	474,843
受取手形及び売掛金	1,065,427	770,014
リース投資資産	568,404	512,333
商品及び製品	73,329	67,629
仕掛品	231,746	861,135
原材料及び貯蔵品	34,475	33,571
その他	320,524	306,448
貸倒引当金	△5,725	△4,170
流動資産合計	2,946,577	3,021,806
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	867,674	886,428
土地	593,069	559,427
その他(純額)	330,676	436,420
有形固定資産合計	1,791,420	1,882,277
無形固定資産	115,088	131,673
投資その他の資産		
前払年金費用	195,759	201,208
その他	298,545	338,114
貸倒引当金	△9,042	△3,796
投資その他の資産合計	485,261	535,526
固定資産合計	2,391,770	2,549,476
資産合計	5,338,348	5,571,283
負債の部		
流動負債		
買掛金	438,515	400,572
短期借入金	—	100,000
1年内返済予定の長期借入金	60,012	100,020
未払費用	199,834	229,365
未払法人税等	21,851	27,568
賞与引当金	215,273	112,609
受注損失引当金	11,738	97,476
アフターコスト引当金	16,401	11,397
その他	484,632	671,635
流動負債合計	1,448,258	1,750,646
固定負債		
長期借入金	234,987	331,633
退職給付引当金	376,817	363,064
その他	480,856	449,556
固定負債合計	1,092,660	1,144,253
負債合計	2,540,919	2,894,900

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	777,875	777,875
資本剰余金	239,946	239,946
利益剰余金	1,779,783	1,654,266
自己株式	△178	△271
株主資本合計	2,797,426	2,671,816
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2	4,566
その他の包括利益累計額合計	2	4,566
純資産合計	2,797,429	2,676,382
負債純資産合計	5,338,348	5,571,283

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	5,832,174	5,005,176
売上原価	4,708,096	4,081,759
売上総利益	1,124,077	923,416
販売費及び一般管理費	1,040,267	1,009,928
営業利益又は営業損失(△)	83,809	△86,512
営業外収益		
受取利息	156	146
受取配当金	2,532	2,875
受取手数料	2,212	2,197
助成金収入	11,219	5,876
補助金収入	—	7,838
その他	7,624	6,452
営業外収益合計	23,745	25,386
営業外費用		
支払利息	4,909	9,984
売上割引	2,285	1,607
シンジケートローン手数料	2,251	6,500
その他	960	248
営業外費用合計	10,407	18,341
経常利益又は経常損失(△)	97,147	△79,467
特別利益		
貸倒引当金戻入額	4,395	3,248
投資有価証券売却益	1,789	—
災害見舞金	—	3,789
特別利益合計	6,185	7,037
特別損失		
固定資産除却損	7,601	2,980
固定資産売却損	—	1,094
投資有価証券評価損	—	764
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	30,064	—
減損損失	—	4,842
本社移転費用	3,753	—
災害による損失	—	12,692
その他	1,273	—
特別損失合計	42,693	22,373
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	60,639	△94,803
法人税等	22,939	△35,880
法人税等の更正、決定等による納付税額又は還付税額	20,864	—
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	16,835	△58,922
四半期純利益又は四半期純損失(△)	16,835	△58,922

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	16,835	△58,922
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,397	4,564
その他の包括利益合計	△1,397	4,564
四半期包括利益	15,437	△54,358
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,437	△54,358
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	機器等販売	ソフトウェア開発	システム販売	システム運用・管理等	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,114,384	1,022,055	1,662,635	2,033,098	5,832,174	—	5,832,174
セグメント間の内部売上高 又は振替高	349	92,106	12,738	5,107	110,302	△110,302	—
計	1,114,733	1,114,162	1,675,374	2,038,205	5,942,476	△110,302	5,832,174
セグメント利益	144,251	102,996	131,607	449,225	828,080	△744,271	83,809

(注) 1 セグメント利益の調整額△744,271千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	機器等販売	ソフトウェア開発	システム販売	システム運用・管理等	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,182,009	633,550	1,162,538	2,027,078	5,005,176	—	5,005,176
セグメント間の内部売上高 又は振替高	455	3,876	1,258	22,031	27,621	△27,621	—
計	1,182,465	637,427	1,163,796	2,049,109	5,032,798	△27,621	5,005,176
セグメント利益又は損失(△)	91,713	4,841	△47,701	472,454	521,308	△607,820	△86,512

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△607,820千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。